

宇都宮商工会議所企業経営委員会 活動報告書

令和4(2022)年10月31日

宇都宮商工会議所
会頭 藤井 昌一 様

宇都宮商工会議所企業経営委員会
委員長 生出 栄

当委員会は、令和元年の設置以来、約3年にわたり当委員会が所管する調査・研究事項「中小企業のSDGs」について、調査研究を進めてまいりました。

このほど、次に掲げる事項についての調査・研究が終了しましたので、その活動経過と結果についてご報告します。

宇都宮商工会議所企業経営委員会 委員名簿

委員長	生 出 栄	栃木信用金庫 専務理事
副委員長	船 田 雅 弘	コクヨ北関東販売(株) 代表取締役社長
委員	赤 塚 博 実	(株)カネマス 取締役会長
同	村 上 芳 弘	日東石油(株) 代表取締役会長
同	金 子 保	レオン自動機(株) 取締役常務執行役員
同	坂 井 俊 司	(有)春日屋商店 代表取締役
同	板 垣 弘 一	関東信越税理士会宇都宮支部 支部長
同	片 岡 泰 三	(株)アトムエンジニアリング 代表取締役会長
同	柳 田 茂 雄	日本郵便(株)宇都宮中央郵便局 郵便局長
同	横 山 幸 子	横山法律事務所 所長
同	高 山 實	(株)太陽警備保障 代表取締役
同	善 林 隆 充	(株)マルゼン 代表取締役社長
同	佐 藤 千 秋	サトーカメラ(株) 代表取締役社長
同	金 田 秀 壽	(株)ニッカネ 代表取締役会長
同	池 田 勇 介	(株)アイ・シー・エス 代表取締役会長
同	大 矢 裕 啓	大矢商事(株) 代表取締役
同	黒 崎 英 典	(株)クロサキ 代表取締役
同	崎 尾 肇	(株)コアミ計測機 代表取締役
同	青 柳 勝 男	社会福祉法人朝日会 理事長
同	山 田 義 治	(株)スキット 監査役
同	竹 川 哲 夫	(株)タケカワ 代表取締役社長
同	田 嶋 久 登 志	(有)ララ・ドリーム 代表取締役

以上22人

目 次

1	調査・研究テーマについて-----	P1
2	企業経営委員会の提案・要望-----	P1
3	委員会の活動経過-----	P2～4
4	SDGsについて-----	P5～8
	(1) SDGsとは	
	(2) 持続可能な開発目標（SDGs）17の目標と169のターゲット	
	(3) 栃木県の取り組み	
	(4) 宇都宮市の取り組み	
	(5) 宇都宮商工会議所の取り組み	
	(6) 中小企業のSDGs経営について	
5	委員の意見-----	P9～10
6	参考資料	
	(1) (独) 中小企業基盤整備機構 SDGs取り組み支援メニュー-----	P11～12
	(2) とちぎSDGs推進企業登録制度-----	P13～14
	(3) 宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム-----	P15～16
	(4) 宇都宮商工会議所会報天地人（とちぎSDGs推進企業登録）-----	P17
	(5) 宇都宮商工会議所 企業経営委員会 SDGsに関する調査-----	P18～24

1 調査・研究テーマについて

企業経営委員会は、中小企業の経営支援に関すること及び商業・流通施策に関することを主な調査研究事項としている。

今期は、第1回委員会にて国の中小・小規模事業者等支援施策について講話を聴き、意見聴取を行った結果、第2回委員会においてSDGsについて調査研究を行うこととした。

持続可能な社会に向けて中小企業が目線やサイズ感ではどのような取り組みができるか、また、SDGsに取り組むことによってどのように企業価値が高まるのかを調査・研究するとともに、SDGsを地域の中小企業に普及させるにはどうしたら良いかといった意見も取りまとめることとした。

2 企業経営委員会の提案・要望

(1) SDGsの幅広い周知

SDGsは企業経営に今後深く関わってくる内容であり、取り組み方次第では取引にも大きな影響を及ぼすものである。一方で、情報不足によりSDGsの取り組みに二の足を踏んでいる企業も多い。

そこで、商工会議所には会報天地人やホームページ等を通じて、すでに取り組みができている事業者の事例や取り組み方法について積極的に情報発信して気づきを促し、各種優遇制度などの紹介をしていただきたい。

(2) 行政の取り組みへの協力

栃木県では「とちぎSDGs推進企業登録制度」により意欲的な企業活動を支援している。また、宇都宮市は内閣府のSDGs未来都市に選定されるなど、取り組みを高く評価されており、「宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム」で事例紹介や勉強会、出前講座などを実施している。そこで、「とちぎSDGs推進企業登録制度」や「宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム」と情報を共有していただき、行政と連携しながらとちぎSDGs推進企業の登録企業や宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム会員企業の増加を後押しし、SDGsの推進に協力していただきたい。

(3) 国の専門機関との連携

独立行政法人中小企業基盤整備機構では、SDGs経営について説明動画の配信、セミナー&個別相談会、研修、ワークショップ、ハンズオン支援など様々なメニューがあり、専門家も充実している。SDGsの取り組み方がわからない中小企業に対し、積極的な活動を促進できるよう、国の専門機関とも密に連携し、支援メニューの紹介や相談窓口として対応していただきたい。

(4) セミナー、勉強会、専門家派遣等の実施

企業経営委員会の委員企業を対象とした調査結果から、SDGsに取り組んで良かった点については「自社の経営理念、経営方針などの強化につながった」「説得力をもって社会貢献を言えるようになった」との回答があったが、「社外・社内の認知度が高まっていない」「具体的な目標・KPIの設定の仕方がわからない」という課題もあることが分かった。また、有効と思われる支援策については、「取り組み方のセミナーや勉強会、専門家の派遣」「先進事例の紹介」が上位に挙げられた。

これらの結果を受け、商工会議所にはセミナーや勉強会、専門家派遣等を実施し、先進事例の紹介などを行って、中小企業の取り組みを支援していただきたい。

3 委員会の活動経過

(1) 第1回委員会（令和2(2020)年8月21日）

ア 内容

(ア) 委員会の調査・研究事項について

(イ) 委員会の今後の進め方について

(ウ) 講話

a テーマ「国の中小・小規模事業者支援施策について」

b 講師 独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部
人材支援部部長（兼）中小企業大学校三条校校長 有木 克昌 氏
独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部
企業支援部 支援推進課 参事 松尾 伸一 氏

イ 出席者 10人

中小企業基盤整備機構の担当者から中小企業のデジタル化、BCP、人材の確保・育成、後継者育成、SDGs、コロナに打ち勝つ企業経営など、様々な内容について情報提供がなされた。それを受け、講話後に意見交換を行い第2回委員会でテーマを決定することとした。

(2) 第1回正副委員長会議（令和2(2020)年11月20日）

ア 内容

(ア) 第1回委員会の振り返りについて

(イ) テーマの絞り込みについて

(ウ) 第2回委員会の開催について

イ 出席者 2人

前期、前々期の調査・研究テーマを確認するとともに、今期のテーマについて、第1回委員会での委員の意見等をもとに議論し、SDGsを提案することとした。

(3) 第2回委員会（令和3(2021)年2月10日）

ア 内容

(ア) 委員会の調査・研究事項について

(イ) 講話

a テーマ とちぎSDGs推進企業登録制度について

b 説明者 公益財団法人栃木県産業振興センター
産業振興部 新産業育成グループ
グループリーダー 枝野 龍之 氏
主事 石田 唯 氏

イ 出席者 6人

講話後に委員が協議を行い、委員会の研究テーマを「SDGs」に決定した。

(4) 第2回正副委員長会議（令和3(2021)年6月30日）

ア 内容

(ア) 第2回委員会の振り返り

(イ) 第3回開催内容について

(ウ) 今後のスケジュールについて

イ 出席者 2人

第2回委員会の内容を振り返り、今後の進め方とスケジュールを確認した。

(5) 第3回委員会 (令和3(2021)年7月27日)

ア 内 容

(ア) 講 話

- a テーマ 市内企業のSDGsの取組(事例)について
- b 説明者 宇都宮市環境部環境政策課エコ活動グループ
主任 鈴木 麻希子 氏

(イ) 意見交換

イ 出席者 7人

SDGsの取組みについて現状を把握したうえで中小企業がSDGsに取り組むための支援策等について議論することとした。

(6) 第3回正副委員長会議 (令和3(2021)年11月15日)

ア 内 容

(ア) 第3回委員会の活動状況について

(イ) 今後のスケジュールおよび委員会の進め方について

イ 出席者 2人

第3回委員会の内容を振り返り、今後の進め方とスケジュールを確認した。また、中小企業の取組み状況等に関する現状把握のため、委員に対するアンケート調査実施を決定した。

(7) SDGsに関する調査(令和3(2021)年12月27日～令和4(2022)年1月19日)

ア SDGsに関する調査を実施

(ア) 調査対象 企業経営委員会 委員22名

(イ) 調査方法 調査対象者に調査票を郵送、回答を返信用封筒により回収

(ウ) 回 答 率 54.5% (調査票と調査結果はP18～24資料のとおり)

(8) 第4回正副委員長会議 (令和4(2022)年5月16日)

ア 内 容

(ア) 企業経営委員会活動状況について

(イ) 今後のスケジュールおよび委員会の進め方について

イ 出席者 2人

第2回委員会の内容を振り返り、今後の進め方とスケジュールを確認した。

(9) 第4回委員会 (令和4(2022)年6月23日)

ア 内 容

(ア) 講 話

- a テーマ 中小企業のSDGsについて
- b 説明者 独立行政法人中小企業基盤整備機構
中小企業アドバイザー 加藤 弘之樹 氏

(イ) 意見交換

イ 出席者6人

講話後に意見交換を行い、これまでの意見と合わせて事務局が取りまとめ、報告書案を作成することとした。

(10) 第5回委員会（令和4(2022)年9月27日）

ア 内容

(ア) 企業経営委員会 活動報告書（案）について

(イ) 質疑応答・意見交換

イ 出席者7人

事務局が活動報告書（案）を説明した後に委員の質疑応答・意見交換を行い、これまでの意見と合わせて正副委員長に確認の上、活動報告書を取りまとめることとした。

4 SDGsについて

(1) SDGsとは【第2回委員会講話要旨】

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略で、持続可能な開発目標と訳され、地球が抱える問題を解決するための世界共通の目標である。17の目標（ゴール）と169のターゲットから構成される。

前身はMDGs（2000年国連採択）であり、開発途上国を対象に8つのゴールがあり、2015年まで運用していた。極度の貧困状態は半減したという一定の成果があったが、アフリカのサハラなどは、まだ40%以上の人は貧困であるという課題が残った。そこでリニューアルしたものがSDGsである。

SDGsは「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」の中の一つであり、開発途上国だけではなく先進国も含めたすべての地域で実施することになった。また、国、企業、一般市民も参画し、世界レベルのパートナーシップで取り組むものとなった。（※外務省：「持続可能な開発のための2030アジェンダ」参照）

(2) 持続可能な開発目標（SDGs）17のゴールと169のターゲット

> SDGs17の目標

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任、つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさも守ろう |
| 7 エネルギーをみんなに。そしてクリーンに | 16 平和と公正をすべての人に |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤を作ろう | |

※169のターゲットは公益財団法人栃木県産業振興センターホームページを参照
(公益財団法人栃木県産業振興センターホームページ <http://www.tochigiin.or.jp/index/15/>)

(3) 栃木県の取り組み【第2回委員会講話要旨】

ア とちぎSDGs推進企業登録制度

(令和4年7月現在：令和2年10月～令和4年6月申請分：526件/526者)

(ア) 栃木県産業振興センターが運営し、受付も同センターが行っている。

(イ) SDGsに取り組む企業を登録し、栃木県のホームページで公表する。

(ウ) 登録企業は名刺や自社ホームページ等に県の登録マークを使用できる。

(エ) 登録1年後にはセルフチェックを行う必要がある。

※とちぎSDGs推進企業登録制度の第1回申請受付時の特徴

一番多い申請項目は「社会課題を解決する製品・サービス開発・展開」、次に「多様な人材活用」における女性の活躍、さらにCO₂の削減であった。

(4) 宇都宮市の取り組み【第3回委員会 講話要旨】

ア SDGs未来都市への選定

内閣府地方創生推進室がSDGsの達成に取り組む自治体を選定するSDGs未来都市に宇都宮市が選定された。(令和元(2019)年7月1日)

イ 宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム

(プラットフォーム会員：2022年9月1日現在で258団体)

(ア)「宇都宮市もったいない運動市民会議」と「宇都宮市」が連携して運営を行う「運営本部」と、運営本部や他会員と連携しながら普及啓発に取り組む「プラットフォーム会員」で構成される。

(イ) SDGsの取り組みを積極的に行っている市域の企業やNPO、教育機関など多様な主体が連携・協力しながら、勉強会等の開催やイベント等における普及啓発などを実施し、市民や事業者のSDGsの理解促進や認知度向上を図る。

(5) 宇都宮商工会議所の取り組み(令和3年度)

ア SDGs啓発セミナー及び個別相談(個別相談専門家派遣4件)

日 時：令和4年2月24日(木)午後1時30分～3時

場 所：当商工会議所 大会議室(会場とオンラインのハイブリッド形式)

受講者数：25社32人

内 容：第一部「中小企業の持続可能な成長にSDGsをどう活用するか」
第二部「とちぎSDGs推進企業登録制度について」

講 師：第一部 三井住友海上火災保険(株)経営サポートセンター
経営アドバイザー 目黒 ゆかり 氏

第二部 (公財)栃木県産業振興センター 新産業育成グループ
グループリーダー 枝野 龍之 氏

イ とちぎSDGs推進企業への登録(令和3年10月)

宣言した3側面

(ア) 宇都宮市内の事業所を対象としたBCP策定支援(環境、社会、経済)

(イ) 有給休暇の取得促進を通じて、職員の健康とワークライフバランスを支援する(経済)

(ウ) 電気使用量の削減(環境)

ウ 会報天地人に会員事業所のSDGs取り組み紹介記事掲載

(6) 中小企業のSDGs経営について【第4回委員会講話要旨】

ア SDGs経営とは

経営目標にSDGsの視点を取り入れ、「社会課題の解決への貢献」と「自社の成長」の両立を目指す経営のこと。自社の経営（利益）を犠牲にして取り組むものはSDGsではない。

イ SDGs経営のメリット

企業の理念や姿勢に共感するステークホルダーとのパートナーシップが深まり、多様なメリットを生む。

(ア) 顧客・消費者の支持を獲得できる

商品・サービスだけでなく企業理念を支持する熱心なファンが獲得できる。

(イ) 共創・協業の可能性が拡大する

企業理念や目的に共感する同業・異業種の他社と協力することで事業の拡大や加速が図れる。

(ウ) 人材の確保・定着

社会課題解決への意欲が高い人など、優秀な人材を採用、定着させることができる。従業員全体のモチベーションも向上、高いパフォーマンスを発揮できるようになる。

(エ) 有利な資金調達

金融機関の評価が向上し、有利な条件で利用できる。また、真にその企業を応援したいと考える長期志向の投資家からの投資を得られる。

(オ) 事業機会の新規獲得

社会課題の解決に着目することで自社の強みを生かし、ニーズも明確であるため新たな事業機会を見出すことができる。

上記(ア)～(オ)のようなメリットが生まれた結果、次のような展開も期待できる。

(カ) 企業ブランドの向上

SDGsと自社ブランドが紐づけされ信頼性が向上するため、大企業からの信頼獲得や官公庁の入札機会拡大へとつながる。

(キ) 持続可能性の向上

社会や地域にとって「なくてはならない存在」と認知され、自社の事業継続性や持続可能性が高まる。

(ク) 収益性の向上

企業も商品・サービスも付加価値が上昇し、価格競争に陥ることがなく適正な収益を獲得できるようになり、収益性が向上する。

ウ 取り組むためのコツ

(ア) バックキャストिंग（あるべき姿に向けてやるべきことのステップ）

2030年の未来におけるSDGs達成の世界を思い描いてプロセスを考える。あるべき姿とは、高い目標のことである。そこへ到達するために何をすべきか、中長期計画として実施期間と内容を考えることとなり、課題や取組内容、目標数値などもそれぞれの段階で変化する。

⇨フォアキャストिंग（現在できることの積み上げ）

「現在できることをやる」になりがちで、「できることしかやらない」に等しい。

(イ)「状態」と「行動」の分離

- 「状態」は「結果そうなる（あるいは得られる）姿」
- 「行動」はその状態の実現につながる自らの取り組みや活動

SDGs 経営に取り組む際、経営理念をSDGsの切り口で表現し、「行動」したら「この状態に近づけるであろう」という形で、因果関係が描けるようにする。

中長期計画として目標達成までの時間軸を入れた表を作成し、PDCAサイクルを回しながら経過や結果、評価を誠実に開示していく。

5 委員からの主な意見（第2回～第5回）

- (1) 持続可能な社会に向けて、中小企業が目線やサイズ感ではどのような取り組みができるのか、また取り組むことによってどのように企業価値が高まるのかを調査・研究していくとともに地域の中小企業に普及させるにはどうしたらよいかといった意見も取りまとめたい。
(金融業 第2回)
- (2) SDGs の理解度はこの1年間で一気に上がってきた。業界紙でも取り組みの推進が取り上げられ、大手企業を中心に事例がでていますが、一方で何に取り組めばいいかわからないというのが問題と感じている。最終的にSDGsをどう企業経営に落とし込んでいくかが重要だと思う。商工会議所としては会報天地人で「わが社のSDGs」としてSDGsに取り組む企業を紹介し、広められるのではないかと。
(寝具製造業 第3回)
- (3) 環境に配慮した商品が他メーカーより値段が高くても消費者から支持されている例もある。値段よりも企業の経営姿勢が消費者から支持されて選ばれているということである。企業として利益を追求しなければならない一方、地球上の人たちが共存・共栄できるように考えた商品でないと消費者から評価されない、ブランディングできない時代になると考えている。(クリーニング業 第3回)
- (4) 自社で宇都宮市のSDGsプラットフォーム会員となっているが、情報発信が足りないと感じている。自社ではホームページ等で自社の取り組みについて発信したいと思う。(紙・紙製品卸売業 第3回)
- (5) 「気が付いたらSDGsの取り組みをしていた」というのと「自ら意識して取り組む」というのは大きく違う。改めて、SDGsをスタートにおいていろいろな取り組みを考え、ゴール設定していくことが重要だと思う。(税理士会 第3回)
- (6) 新たな制度を作る必要はないが、既存の制度との連携として、より多くの会員に宇都宮市SDGsプラットフォームの会員になってもらうと良いと思う。
また、中小企業が「知っているが一步踏み出せない」ことの対策や後押しができるよう、要因を委員会で調査すると良いのではないかと。(紙・紙製品卸売業 第3回)
- (7) 新しい価値観が出てきたことで、これまで考慮していなかったことを追加で考えなければならない制約条件のようなものができている。地元企業も含め、今後の企業活動の流れを考えなければならない。(金融業 第3回)
- (8) SDGsの取り組みに「専従する人を置く必要はない」「会社の未来の姿を明確に文字にして共有する」「中長期的な取り組みを経て次第に選ばれる会社になっていく」ということが分かった。SDGs経営について、わかりやすく解説してくれる専門家がいると取り組みが進むのではないかと。(紙・紙製品卸売業 第4回)

- (9) 調査・研究を進める中で、SDGs経営の取り組み方についてかみ砕いて説明を受けて、ようやく「特別なことを新たにする必要はない」と気づけた。中小企業がSDGsという言葉を知っていても着手できない要因はこのような理解不足にもあると思われるので、専門家や相談できる場所の情報発信がもっと必要と思われる。
(紙・紙製品卸売業 第4回)
- (10) 漠然とSDGsを理解するというのは幅が広いので、自分の会社、自分の職業の中で何が取り入れられるかテーマを決めて落とし込めれば身近になるのではないかと思う。(時計・眼鏡・光学機械小売業 第5回)
- (11) 自分の会社が生き残り、持続可能な成長をすることこそがSDGsそのものだというのを強く打ち出していけば、よりタイミングの良い提案になるのではないか。
(情報処理サービス業 第5回)
- (12) まずは自らの事業に触れてもらうことも重要だと思うので、事業ごとに限定した形で、どういう取り組みがあるかというメニューを具体的に提示してもらえると、SDGsにまず触れてもらう機会になるのではないか。(税理士会 第5回)
- (13) 言葉の理解がまだ浅いと思う。どこまで社会に浸透しているかは分からないが、基本的に商売が成り立つのはすでにSDGs的な取り組みを実践しているからこそだと思う。あえてこういう言葉を使って言わなくても経営者は生き残るため、会社が継続、成長していくために必然的に本能として17の目標に沿った取り組みを実施しているのではないか。(警備業 第5回)
- (14) 事業の継続性を高める中で、経営者が取り組んでいることをSDGsというフィルターにかけてプロモーションの材料にするという形でよいのではないか。企業からの問い合わせ窓口や自治体との橋渡し役として、今あるものを整理してさばく役割でも良いので、企業としてうまく使えるよう、後押しの仕組みをつくれれば良いと思う。
(紙・紙製品卸売業 第5回)
- (15) 自社の経営理念をSDGsに当てはめた表現に変える発想のほうが日本企業に合うと考えている。
我々の価値観で企業経営に取り組みながら目標やアプローチ方法を整理し、見せ方を工夫することでSDGs的に再評価をされるというのが良いのではないか。
(金融業 第5回)
- (16) SDGsに取り組むハードルを上げなくて良いということをPRしてはどうか。各企業が既の実施していることだから、どんどん認証制度に登録しましょう、融資制度などを使おう、ということを商工会議所が積極的に企業にアプローチするとよいのでは。
(情報処理サービス業 第5回)

これから先の経営戦略

SDGsに

取り組んでみませんか?



中小機構 関東本部では、SDGsに取り組む中小企業・小規模事業者の皆様に対し、様々なサポートを行っています。
「SDGsってなんだらう?」という方から「本格的に取り組むうえでアドバイスを受けたい」という方まで、
お気軽にご相談ください!

そもそも、
SDGsって?

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すために掲げた国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成されており、ユニバーサル (普遍的) な目標として、日本としても、政府や大企業をはじめとして様々な取り組みが積極的に行われています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

政府や大手企業などが取り組んでいるSDGs

中小企業や小規模事業者の皆様が取り組むとこんなメリットがあります!

企業イメージの向上

SDGsの取り組みをアピールすることで、「この会社は信用できる」「この会社で働いてみたい」という印象を与えます。

- 顧客や消費者の支持獲得
- 人材の確保・定着

経営リスクの回避

SDGsには今の社会に必要な様々な課題が網羅されており、課題への対応を通して、経営リスクの回避のほか、地域社会への貢献にもつながります。

- 社員のモチベーションUP
- 地域での企業イメージUP

生存戦略になる

世界中で展開されているSDGsは、今後、ビジネスにおける取引条件になる可能性もあります。持続可能な経営を行う戦略として活用できます。

- 安定した資金調達
- 取引機会の確保

新たな 事業機会の創出

SDGsへの取り組みをきっかけに、新しい取引先や新たな事業創出など、今までになかったイノベーションを生むことにつながります。

- 事業機会の新規獲得
- 共創・協業の可能性拡大

SDGsに
取り組んでみたい!

でも、どんなことを
すればいいの?

という方は、裏面をご確認ください。

中小機構 関東本部が様々な支援メニューをご用意しています!



SDGs関連のご支援策

中小機構では、無料でご活用いただけるものから、
専門家のアドバイスのもと有料でしっかりと取り組んでいただけるものまで、様々なサポートを行っています！

まずは
無料相談！

SDGs経営相談窓口

無料

対象 SDGsに取り組みたい中小企業者、個人事業主等

SDGsに関する様々なご相談に、専門家が対面、オンライン（zoom）、メール、様々な方法で対応します。1回1時間、何度でもご利用いただけます（事前予約制）。ご予約はお電話またはお申込みフォームより受け付けております。

ご予約

☎03-5470-1620
https://www.smrj.go.jp/regional_hq/kanto/sme/consulting



※業務代行、業務請負は出来ません（国連への申請手続き代行、申請書の英文チェック等）。※日程、実施方法（オンライン/リアル）、内容等については要相談。

SDGsについてちゃんと知りたい

SDGs説明動画

無料

対象 中小企業及び金融機関、
地方自治体、支援機関、組合等

SDGsについての説明動画を無料でご提供します。
1本あたり15分～20分程度で、社内研修等にご利用いただけます。

お問い合わせ ☎03-5470-1637

セミナー等でしっかりと学びたい

セミナー&個別相談会

無料

対象 中小企業者 複数社

セミナーにてSDGsの取り組み方法やメリット、
取組事例などをご説明した上で個別相談会を実施いたします。

お問い合わせ ☎03-5470-1637

※セミナーのみの開催、講師派遣はできません。※日程、実施方法（オンライン/リアル）、内容等については要相談。※お申込みは支援機関経由となります。

具体的な取り組み方法を学びたい

研修、ワークショップ

有料

対象 中小企業者

自社事業におけるSDGs活用案を具体的に検討していきます。2日～3日程度、内容や実施方法は別途ご相談ください。

お問い合わせ ☎03-6459-0752

※研修時間、参加人数等により費用は異なります。※日程、研修時間、カリキュラム等については要相談。※お申込みは支援機関経由となります。

SDGsに本格的に取り組むたい

ハンズオン支援

（専門家継続派遣事業）

対象 中小企業者

月2回程度、専門家を派遣。社内でプロジェクトチームを組んでいただき、専門家のアドバイスのもと、主体的にSDGsへの取り組みを進めていただきます。

お問い合わせ ☎03-5470-1637



<https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/hands-on>

※ご利用にあたっては、当機構の審査がございます。

このほかにも、中小機構HPにてSDGs関連の情報提供、事例紹介等を行っています。

詳しくは、下記WEBページをご確認ください。

中小機構におけるSDGsへの取り組み

<https://www.smrj.go.jp/org/policy/sdgs/index.html>



SDGsに係るお問い合わせ

中小機構 関東本部 企業支援課

☎03-5470-1637

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/kanto/sme/sdgs/index.html

～一歩進んだ企業活動、経営資源を磨く砥石として～

とちぎSDGs推進企業 登録制度

SDGsとは？

持続可能な開発目標（**Sustainable Development Goals**）とは、国連において2015年に採択され、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継であり、国際社会が2030年までに「持続可能な社会を実現するための17の開発目標」です。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐるさまざまな課題に対し、すべての関係者の取組が求められています。



「とちぎSDGs推進企業登録制度」とは？

SDGs達成に向けて意欲的な企業活動に取り組む企業等がSDGsの取組を「環境」・「社会」・「経済」の3側面で宣言した内容について登録する制度です。



とちぎSDGs推進企業登録マーク

SDGs達成に向けての取組を国内外に宣言しませんか？

このマークを使ってPRしませんか？

本制度に登録するメリット

- ✓ 御社の取組・宣言を県ホームページ等でPRできます！
- ✓ ホームページや名刺等にロゴマークを使用できます！



ブランドイメージの向上
販路拡大、経営リスクマネジメント
社会課題解決につながる新商品・新サービスの開発 など

本制度を企業活動のPRツールとして活用ください！

とちぎSDGs推進企業登録制度の概要

対象

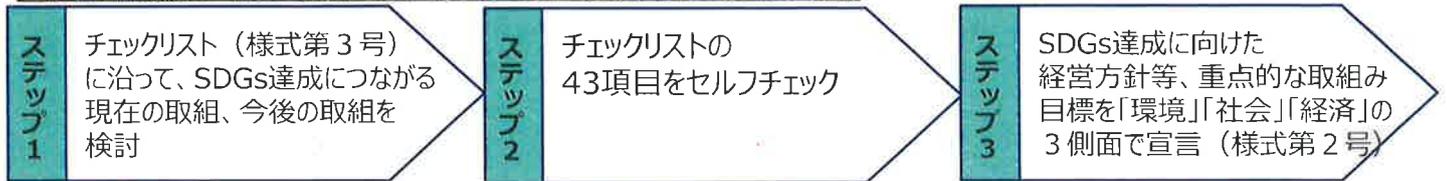
栃木県内に本社又は支社を有し、県内において事業活動を行う企業、法人、団体、個人事業主

登録要件

以下をいずれも満たすことが必要です

- (1) 「環境」・「社会」・「経済」の3側面の取組及び目標が設定されていること。
- (2) SDGs達成に向け、既に取り組んでいる又は登録後に取り組む具体的な取組内容が記載されていること。

宣言の作成に当たっては、以下のステップにより実施してください。



※SDGsは、企業等のすべての部署に関わるものです。
申請に際して、社員の皆様とともに、取組内容を検討いただくなど、工夫して進めてください。

提出先・提出方法・募集期間

下記ホームページより確認ください。申請書の提出はE-mailにてお願いします。
栃木県産業振興センター 次世代産業支援グループ

【HP】 <http://www.tochigi-iin.or.jp/index/15/>



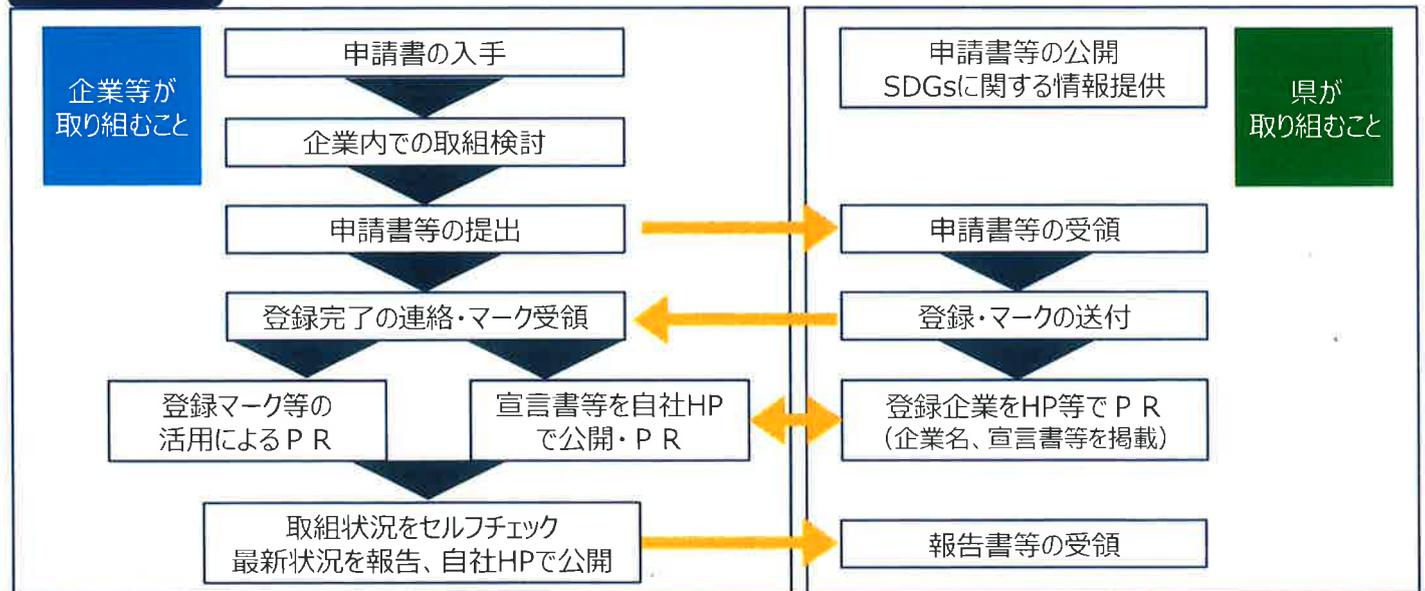
申請様式

＜申請に係る様式一覧＞

- 【様式第1号】とちぎSDGs推進企業（登録申請書・報告書）
- 【様式第2号】SDGs達成に向けた宣言書
- 【様式第3号】SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式第1～3号を
全てご提出ください。

手続きの流れ



登録後の取組状況

登録の日から1年が経過するごとに申請した取組内容の確認・振り返りをしてください。
宣言や取組内容につきましては、登録者自身のHP等で公開し、積極的に周知くださいますようお願いいたします。

【申請・掲載・更新に関するお問合せ先】

(公財)栃木県産業振興センター 産業振興部 次世代産業支援グループ
TEL : 028-670-2608 E-mail : sdgs_suishin@tochigi-iin.or.jp

【制度に関するお問合せ先】

栃木県 産業労働観光部 産業政策課 次世代産業創造室
TEL : 028-623-3203 E-mail : sangyoshinko@pref.tochigi.lg.jp

SDGsの概要についても掲載しています！

とちぎSDGs推進企業

宇都宮市SDGs人づくりプラットフォームについて

宇都宮市SDGs人づくりプラットフォームについて



宇都宮市SDGs人づくりプラットフォームは、SDGsの取組を積極的に行っている市域の企業やNPO、教育機関など多様な主体が連携・協力しながら、勉強会等の開催やイベント等における普及啓発などを実施し、市民や事業者のSDGsの理解促進や認知度向上を図るための仕組みです。

宇都宮市SDGs人づくりプラットフォームの運営体制は、「宇都宮市もったいない運動市民会議」と「宇都宮市」が連携して運営を行う『運営本部』と、運営本部や他会員と連携しながら普及啓発に取り組む『プラットフォーム会員』で構成されます。

宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム



もったいない運動市民会議とは・・・

「地球上にあるすべてのものに尊敬と感謝（リスペクト）の気持ちを持ち、ひとやものを大切にすること」である「もったいない」の精神や、おもてなしの心が、市民の日常生活や事業活動の中で行動に結び付くよう、市民運動として「もったいない運動」を推進している団体

宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム会員の募集について

市民・事業者に対するSDGsの認知度向上のため、プラットフォーム運営本部と連携し、勉強会の実施やイベントなどにおける普及啓発などに継続して取り組んでいただける企業・団体等を募集します。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

[宇都宮市SDGs人づくりプラットフォームホームページ（会員募集）（外部リンク）](#) □

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs17のゴール

持続可能な開発目標（SDGs）： Sustainable Development Goals）は、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟

SDGsとは

「とちぎSDGs推進企業」とは、SDGs達成に向けた企業の主体的な取り組みにより、企業価値の向上および競争力の強化を図ろうとする企業を指します。

当所の活動内容は「地域商工業の振興発展と社会福祉の増進を図る地域総合経済団体」として、これはSDGsの達成目的と共通しています。今後も、職員一人ひとりがそのことを自覚し、それぞれの役割をはたしていくことで、「持続可能な社会」実現のためSDGsの達成に貢献していきます。

当所がとちぎSDGs推進企業に登録されました！

2021年10月、当所の取り組みが制度の趣旨に沿ったものと評価され、「とちぎSDGs推進企業」に登録されました。

特集3 とちぎSDGs推進企業

宇都宮商工会議所の登録内容

宣言した3側面

- 1 宇都宮市内の事業所を対象としたBCP策定支援（環境、社会、経済）
- 2 有給休暇の取得促進を通じて、職員の健康とワークライフバランスを支援する（経済）
- 3 電気使用量の削減（環境）

とちぎSDGs推進企業登録制度とは

この登録制度は「SDGs」とは言っても、



とちぎSDGs推進企業 登録マーク

国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されました。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標です。

何に取り組みばいいかわからない」という声を受け、栃木県が創設した制度です。概要は、次のとおりです。

- ① SDGs達成に意欲的に取り組む企業が「環境」「社会」「経済」の3側面で宣言した内容を登録
- ② 意欲的な取り組みを対外的に発信することでブランドイメージ等の向上につながるメリット
- ③ 登録期間は3年間で更新も可能（1年に1回、進捗状況を県に報告）

※とちぎSDGs推進企業登録制度の詳細や登録企業については左記の二次元バーコードをご参照ください。



とちぎSDGs推進企業 支援事業



登録企業一覧

とちぎSDGs推進企業の登録を支援します

当所では、栃木県と連携してSDGs推進に取り組み「三井住友海上火災保険㈱」とともに、登録を進めたい事業所の支援を行っています。詳細はお問い合わせください。

問合せ
総務部
☎028-637-3131

宇都宮商工会議所 企業経営委員会 SDG s に関する調査 結果

- 1 調査期間 令和3年12月21日(火)～令和4年1月19日(水)
- 2 調査対象 宇都宮商工会議所 企業経営委員会 委員(22名)
- 3 調査内容 SDG s の取り組みに関する調査 9項目
- 4 回答企業数 12企業(回答率:54.5%)

問1 貴社におけるSDG s の認知度と取り組み状況についてお答え下さい。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| ① SDG s に取り組んでいる | 5 |
| ② SDG s に取り組みたいと思っている | 5 |
| ③ SDG s の意味・重要性は理解しているが、特に取り組む予定はない | 1 |
| ④ SDG s の意味・重要性を理解できない | 1 |
| ⑤ SDG s について理解していない | 0 |
- ※ 選択肢:各企業1つ

問2 「SDG s に取り組んでいる」「SDG s に取り組みたいと思っている。」方対象

(1) (現在) 取り組んでいる内容(自由記載)

- ア 二酸化炭素の削減(重油ボイラー⇒ガスボイラーに変更)
ペットボトルの回収⇒ワクチンに 古紙、ダンボールをお金に変えて、ボランティア活動資金に
- イ 現在ポリエステル綿をリサイクル100%のポリエステルに変えて、二酸化炭素の削減に取り組んでいる
- ウ (株)パンアキモトの「救缶鳥プロジェクト」へ参画している
- エ 商品開発
- オ 環境保護に貢献する、排水処理や店舗づくり
- カ 会議のペーパーレス化、リモートの活用
- キ 現在ウォーターサーバーによる「水宅配事業」をしており、ペットボトルの廃棄減少などでSDG s を推進しているが、メイン事業でのSDG s への取り組みを考えたい。
- ク 環境負荷軽減商品の提案。間伐材家具企画提案。アクティブラーニング等質の高い「学びの場」構築支援など
- ケ とちぎSDG s 推進企業への登録

(2) (今後) 取り組みたいと思っている内容(自由記載)

- ア 8 働きがいも 経済成長も ⇒ 働きがいのある職場とは何か?
- 12 つくる責任 つかう責任 ⇒ 持続的な供給体制を構築するには?

問3 「SDGsに取り組んでいる」「SDGsに取り組みたいと思っている。」方対象

(1) SDGs 17目標のうち、力を入れて取り組んでいること（複数回答可）

- | | |
|----------------------|---|
| ① 貧困をなくそう | 2 |
| ② 飢餓をゼロに | 0 |
| ③ すべての人に健康と福祉を | 3 |
| ④ 質の高い教育をみんなに | 2 |
| ⑤ ジェンダー平等を実現しよう | 3 |
| ⑥ 安全な水とトイレを世界中に | 2 |
| ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 1 |
| ⑧ 働きがいも 経済成長も | 4 |
| ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう | 1 |
| ⑩ 人や国の不平等をなくそう | 0 |
| ⑪ 住み続けられるまちづくりを | 2 |
| ⑫ つくる責任 つかう責任 | 6 |
| ⑬ 気候変動に具体策を | 4 |
| ⑭ 海の豊かさを守ろう | 2 |
| ⑮ 陸の豊かさを守ろう | 1 |
| ⑯ 平和と公正をすべての人に | 0 |
| ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう | 0 |

(2) SDGs 17目標のうち、今後取り組みたいと思っていること（複数回答可）

- | | |
|----------------------|---|
| ① 貧困をなくそう | 2 |
| ② 飢餓をゼロに | 0 |
| ③ すべての人に健康と福祉を | 3 |
| ④ 質の高い教育をみんなに | 1 |
| ⑤ ジェンダー平等を実現しよう | 3 |
| ⑥ 安全な水とトイレを世界中に | 1 |
| ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 2 |
| ⑧ 働きがいも 経済成長も | 5 |
| ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう | 4 |
| ⑩ 人や国の不平等をなくそう | 0 |
| ⑪ 住み続けられるまちづくりを | 3 |
| ⑫ つくる責任 つかう責任 | 7 |
| ⑬ 気候変動に具体策を | 2 |
| ⑭ 海の豊かさを守ろう | 3 |
| ⑮ 陸の豊かさを守ろう | 2 |
| ⑯ 平和と公正をすべての人に | 2 |
| ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう | 3 |

問4 「SDGsに取り組んでいる」方対象

- (1) 「SDGs」に取り組んで良かったと思う点は（複数回答可）
- | | |
|---------------------------------|---|
| ① 説得力をもって社会貢献を言えるようになった | 4 |
| ② 経営リスクのチェックリストとして「SDGs」が役立っている | 0 |
| ③ 新たな取引先など、事業機会の創出につながった | 1 |
| ④ 自社の経営理念、経営方針などの強化につながった。 | 5 |
| ⑤ その他（自由記載） | 1 |

【自由意見】

- ・現在のところ大きな変化はなく、進展していない

問5 「SDGsに取り組んでいる」方対象

- (1) 現在「SDGs」に取り組んでいる現在の課題は（複数回答可）
- | | |
|--|---|
| ① 社内の認知度が高まっていない。（従業員の意識に「SDGs」が浸透していない） | 4 |
| ② 中・長期的に見て、「SDGs」をどのように展開していったら良いかわからない。 | 2 |
| ③ 資金の不足 | 1 |

問6 「SDGsに取り組んでいる」方対象

- (1) 「SDGs」に取り組む際の課題について思うことは（複数回答可）
- | | |
|--------------------------|---|
| ① 社外・社内の認知度が高まっていない | 5 |
| ② マンパワーの不足 | 3 |
| ③ 資金の不足 | 1 |
| ④ 具体的な目標・KPIの設定の仕方が分からない | 6 |
| ⑤ 取り組むことによるメリットが分からない | 2 |

問7 現在学校教育の一環として「SDGs」が題材に取り上げられており、教育を受けた

世代が社会のメイン世代となっていきます。そうした将来に企業が「SDGs」のような

「新しい価値観」を受け入れ、企業活動に取り組んで行く必要があると思いますか。

- | | |
|--------------------|---|
| ① 十分に必要性を感じる | 4 |
| ② 必要性を感じる | 7 |
| ③ どちらかと言えば必要性を感じない | 0 |
| ④ 必要性を感じない | 0 |
| ⑤ 分からない | 0 |

問8 「SDGs」を今後推進していくための後押しになると思われる有効な支援策は

① 資金面での後押し（特別融資）	4
② 先進事例の紹介	6
③ 取り組み方のセミナーや勉強会、専門家の派遣支援	10
④ その他	0

【講師からの質問】

1 現在の自社の経営課題と感じていることはどのようなことですか（自由記載）

- (1) 各事業ごとの利益率が悪い 採算性が悪い
人不足、特に専門職、女性職
リーダーや役職に成りたがらない
- (2) 人材確保、人材教育
- (3) SDGsの社内浸透
- (4) 社員の高齢化と業務の継続性
先端技術、製品への対応能力（マンパワー不足）
- (5) 人材確保、人材育成
- (6) 次世代へのビジネスモデルの構築、SDGsの対応
- (7) 石油由来の製品・商品が消費者に敬遠されていること
男女雇用均等とジェンダー平等
- (8) 原料が高いため、もっと安く原料を仕入れたい

2 企業経営上大切にしていることは（複数回答可）

(1) 顧客・従業員満足度（評判・働きがい）	9
(2) 自社の事業の拡大（業績・経済力）	6
(3) 社会貢献（地域・コミュニティ）	9
(4) 経済貢献（経済成長・産業発展）	4
(5) 地域資源（地球環境・自然）	2
(6) 社会的名誉	0
(7) 分からない	0
(8) その他	0

3 企業経営上、大切にしている（経営理念）はなんですか（自由記載）

- (1) 最先端の繊維技術を広め、社会に貢献していきたい
- (2) 地域と共に生きる
- (3) 開発企業であること 食文化への貢献
- (4) 商品を通じて社会に役に立つこと
- (5) 地域社会（地域の顧客）から信頼とそれによる社員の最大幸福

- (6) 共に喜び 共に感動
- (7) 相志相愛 志を共有するパートナーと生み出す善循環
- (8) 安全・安心・効率的 感謝・謙虚・感動
- (9) 存在価値のある企業を目指す（使命・目標・願望・活力）

4 その他質問等

- (1) SDGsは誰が取り組むものなのか、SDGsで社会は変わるのか（2030年までに）

宇都宮商工会議所 企業経営委員会 SDGsに関する調査

宇都宮商工会議所 経営支援部 行

記入日 令和 年 月 日

それぞれ該当する番号を一つご記入ください。

事業所名:	①製造業	②建設業	③小売業	④卸売業	業種	
役職:	⑤サービス業	⑥飲食業	⑦運輸・通信業	⑧その他		
ご担当者名:	①5人以下	②6人～20人以下	③21人～100人以下	従業員数		
	④101人～300人以下	⑤300人超				
	①1000万円以下	②～5000万円以下	③～1億円以下	資本金		
	④～3億円以下	⑤～10億円以下	⑥10億円超			

① 貴社におけるSDGsの認知度と取り組み状況についてお答え下さい。

- SDGsに取り組んでいる
- SDGsに取り組みたいと思っている
- SDGsの意味・重要性は理解できるが、特に取り組む予定はない
- SDGsの意味・重要性を理解できない
- SDGsについて理解していない

↓番号一つ

--

② 問①において「SDGsに取り組んでいる。」「SDGsに取り組みたいと思っている。」と回答された方につきましてその取り組んでいる(取り組みたいと思っている)内容を具体的にお答え下さい。(自由記載)

--

③ 問①において「SDGsの意味・重要性は理解できるが、特に取り組む予定はない」と回答された方につきまして「SDGs」に取り組まない理由はどのようなことですか。具体的にお答え下さい。(自由記載)

--

④ 問①において「SDGsに取り組んでいる。」「SDGsに取り組みたいと思っている。」と回答された方にお聞きます。

- ア SDGs17目標のうち、力を入れて取り組んでいる項目をお答えください。
イ SDGs17目標のうち、今後取り組みたい項目をお答え下さい。

- 貧困をなくそう
- 飢餓をゼロに
- すべての人に健康と福祉を
- 質の高い教育をみんなに
- ジェンダー平等を実現しよう
- 安全な水とトイレを世界中に
- エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 働きがいも 経済成長も
- 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 人や国の不平等をなくそう
- 住み続けられるまちづくりを
- つくる責任 つかう責任
- 気候変動に具体策を
- 海の豊かさを守ろう
- 陸の豊かさを守ろう
- 平和と公正をすべての人に
- パートナーシップで目標を達成しよう

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
ア (複数回答可○印)																	
イ (複数回答可○印)																	

⑤ 問①において「SDGsに取り組んでいる。」と回答された方にお聞きます。「SDGs」に取り組んで良かったと思うところは何ですか。お答えください。

- 説得力をもって社会貢献を言えるようになった
- 経営リスクのチェックリストとして「SDGs」が役立っている
- 新たな取引先など、事業機会の創出につながった
- 自社の経営理念、経営方針などの強化につながった
- その他(自由記載)

↓番号複数可

⑥ 問①において「SDGsに取り組んでいる。」と回答された方にお聞きます。現在「SDGs」に取り組んでいる現在の課題について当てはまるものをお答えください。

- 社内の認知度が高まっていない。(従業員の意識に「SDGs」が浸透していないなど)
- 中・長期的に見て、「SDGs」をどのように展開していったら良いか分からない
- 資金の不足
- その他(自由記載)

↓番号複数可

宇都宮商工会議所 企業経営委員会 SDGsに関する調査

⑦ SDGsに取り組む際の課題について思うものをお答えください。

1. 社外・社内の認知度が高まっていない。
2. マンパワーの不足
3. 資金の不足
4. 具体的な目標・KPIの設定の仕方が分からない。何から取り組んでいいか分からない。
5. 取り組むことによるメリットが分からない。
6. その他(自由記載)

↓番号複数可

⑧ 現在学校教育の一環として「SDGs」が題材に取り上げられており、教育を受けた世代が社会のメイン世代となっていきます。そうした将来に企業が「SDGs」のような「新しい価値観」を受け入れ、企業活動に取り組んでいく必要性があると思いますか。

1. 十分に必要性を感じる
2. 必要性を感じる
3. どちらかと言えば必要性を感じない
4. 必要性を感じない
5. 分からない

↓番号一つ

⑨ 「SDGs」を今後推進していくための後押しになると思われる有効な支援策についてお答えください。

1. 資金面での後押し(特別融資など)
2. 先進事例の紹介
3. 取り組み方のセミナーや勉強会、専門家の派遣支援
4. その他(自由記載)

↓番号複数可

※ アンケートのご協力ありがとうございました。今回いただいた皆様からのアンケート結果を踏まえ、次回委員会の中でSDGsコンサルタントより説明があります。なお下記の設問はコンサルタントから依頼による質問となります。ご回答よろしく申し上げます。

I 現在の自社の経営課題と感じていることはどのようなことですか。(自由記載)

1
2
3

II 企業経営上、大切にしていることをお答えください。(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 顧客・従業員満足度(評判・働きがい) | 6. 社会的名誉 |
| 2. 自社の事業の拡大(業績・経済力) | 7. 分からない |
| 3. 社会貢献(地域・コミュニティ・家族) | 8. その他(自由記載) |
| 4. 経済貢献(経済成長・産業発展) | |
| 5. 地域資源(地球環境・自然) | |

↓番号複数可

--	--	--	--	--	--	--	--

III 企業経営上、大切にしている(経営理念、またはそれに準ずるもの)は何ですか。(自由記載)

IV その他コンサルタントにご質問等ございましたら、ご記載下さい。